

大谷山 伽耶院  
重要文化財 三坂明神社本殿  
令和六年保存修理工事

QUALITY CENTER





大谷山伽耶院は三木市の東南端に位置する志染町の奥静かなる地にあり、古くは大谷山大禰寺と称していた。大化元年に創建されて以来、最盛期の平安時代には広大な寺領に堂舎が百三十余りがあったと伝えられる。その後、伽藍は戦火や金堂からの出火などにより全焼、復興を繰り返した。

そうしたなか三坂明神社本殿は寛永末年から正保初年にかけて建立された建物である。

大正十二年頃にこけら葺屋根が鉄板葺に改変されたが、昭和六十年の解体修理工事の際にこけら葺に復元された。直近の修理としては平成二十二年に東南隅の腐朽した屋根の補修が行われた。

昭和六十年の解体修理より三十九年を経過し、こけら葺は全面的に痛みが激しくなったほか、木部には部分的に破損が生じたため、令和六年に屋根葺替及び部分修理の保存修理工事に着手した。

この事業は文化庁・兵庫県・三木市の補助を受けて実施しています。

事業主 宗教法人 伽耶院  
設計監理 公益財団法人文化財建造物保存技術協会  
工事請負 株式会社友井社寺  
発行 宗教法人 伽耶院  
編集 公益財団法人文化財建造物保存技術協会

屋根の破損



解体作業の様子



木部の破損

